

令和3年度 事業実施報告書

1 環境保全に関する実践活動の推進

(1) 環境美化運動

①ごみゼロ大作戦

《実践活動》

滋賀県ごみの散乱防止に関する条例（以下、「クリーン条例」という。）で定められた5月30日の「環境美化の日」を基準日とし、琵琶湖岸、河川、公園、道路など県内各地域で清掃を実施した。

参加延人数	13,982人
回収したごみの量	74t

②びわ湖を美しくする運動

《実践活動》

滋賀県環境基本条例で定められた7月1日の「びわ湖の日」（クリーン条例で定められた「環境美化の日」）を基準日とし、琵琶湖を中心に県内各地域の河川、道路、公園など県内全域の清掃を実施した。

参加延人数	77,163人
回収したごみの量	382t

③県下一斉清掃運動

《実践活動》

クリーン条例で定められた12月1日の「環境美化の日」を基準日とし、県内各地域の公共施設、生活の場および各事業所を対象に清掃を実施した。

参加延人数	81,176人
回収したごみの量	392t

(2) 環境美化運動等の推進事業

環境美化運動をはじめとした地域の環境美化活動に対して補助金を交付した。
実績は別紙1のとおり。

(3) 湖岸クリーンアップ事業

琵琶湖岸における散在性ごみの回収、清掃活動の活性化を図るため、湖岸に面する会員団体および協賛企業が実施した普及啓発および清掃活動に補助金を交付した。

実績は別紙2のとおり。

2 環境保全に関する活動の普及啓発

環境美化運動が広く県民に周知されるようポスターを作成し、会員団体等と連携を図りながら啓発を行った。

また、各環境美化運動で利用できるよう美しい湖国をつくる会オリジナルごみ袋を作成・配布し、環境美化運動の実施促進を図った。なお、本年度は、バイオマスプラスチックを30パーセント配合した地球環境に優しいごみ袋を作成した。

さらに、美しい湖国をつくる会ホームページを利用して、当会の活動や協賛企業一覧等を発信し、広報に努めた。

3 美しい湖国をつくる会 50周年記念事業

令和3年で50周年を迎える節目の年に、環境美化運動の輪をさらに広げ、美しい湖国を次世代に残していくことを目的としてキャンペーンを実施した。

初の試みのInstagramとTwitterでの「みんなで美しい湖国をつくろう！ごみ拾いキャンペーン」の告知では多くのフォロワー数を獲得した。また、びわ湖放送では、30回のテレビ広告を流した。#美しい湖国をつくろうをつけたInstagramやTwitter、また、メールや郵送で寄せられた数多くの投稿の中から抽選で50名の方にステンレスマグを景品として贈呈した。

50周年記念ポスターは、JRの駅に掲出するとともに、県内の関係団体等に配布し、啓発に努めた。



《50周年記念ポスター》

《50周年記念キャンペーンリーフレット》

ごみ拾いしませんか。
～美しい湖国をつくるために～

抽選で50名様にマイボトルをプレゼント!

みんなで美しい湖国をつくろう！ごみ拾いキャンペーン

11月19日(金)～12月28日(火)

100枚



50名様にマイボトルをプレゼント!!

みんなで美しい湖国をつくろう！50周年記念事業

みんなで美しい湖国をつくろう！ごみ拾いキャンペーン

11月19日(金)～12月28日(火)

700枚

《50周年記念事業景品》

《環境美化普及啓発ポスター》

50名様に贈呈

ごみのない美しい湖国を
次の世代に残したい

捨てていいのは
ポイ捨てゼロ
みんなで守ろう
生感系

800枚

《美しい湖国をつくる会オリジナルごみ袋》



(青) 80,000枚

(赤) 90,000枚

4 会員団体の活動、環境保全推進活動等の活性化

地域に密着した活動を活性化するため、各構成団体および賛同団体の環境保全推進活動に対し補助金を交付した。

5 環境保全と美化運動に対する各種企業への協賛依頼と参加の呼びかけ

企業等から寄付を募り、清掃活動用ごみ袋とポスターを製作し、各構成団体・賛同団体の実践活動および環境美化に対する意識の高揚に活用した。

また、高額な協賛金や継続して協賛金を頂いた企業に対して、感謝の意を表すため、感謝状を贈呈した。

《協賛金のお願いいリーフレット》



1,100枚配布し、201社の企業・団体より協賛いただいた。

《感謝状》



過去3年間において、
20万円以上の寄付をした10社



過去5年間以上
継続して寄付をした139社